

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI武蔵小杉		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		2024年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年 11月 10日		2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者からのニーズを踏まえた上で、子どもの性格や特性に合わせて支援計画の作成がされている点。	支援計画を作成するにあたり、子どもの日頃の様子や療育中の様子を保護者と共有し合うことを大切にしている。 子どもが楽しく活動する中で、成功体験を積めるような支援計画を児発管と職員全員で考えている。	今後も保護者との共有を大切にしながら、子どもの日々変化する状況を鑑みて支援計画を作成していく。
2	子どもの状況について保護者との連携を大切にしている点。	フィードバックの際に療育中の子ども状況の共有だけでなく、学校や家庭での直近の状況を保護者にも確認するなどして、常に最新の子ども状況を知れるように意識している。 面談時には、兄弟の状況などもお伺いし、内容によってはアドバイスをお伝えしている。	今後も保護者との連携を大切に、日々成長し変化していく子どもの状況を意識して支援をしていく。 保護者の希望の有無にもよるが、学校との連携も行っていく。
3	子どもが楽しく取り組める活動プログラムの提供を行っている点。	逆上がりの蹴り上げの向上という一つの目標達成に向けて、複数の運動方法を提供するなど、一つの目標達成のためでも複数の方法を提供することで、子どもが飽きることなく楽しく取り組める活動プログラムを職員全員で作成している。	他教室や他療育、本などから日々どんな運動があるのか研鑽をしていき、子どもの状況に合わせて、色々な運動を提供出来るようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クール編成があり、子どもの人数が去年度より増えたことで子どもの心境や環境の変化があったと感じる状況が見られた点。	クール編成をしているので変化を感じるのは当然と察するが、夢中になれるほど楽しい活動プログラムを提供できなかった可能性があると考える。	環境の変化があっても、子どもが楽しいと思える活動プログラムを提供できるように、日々研鑽を重ねていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI武蔵小杉

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 50

回収数 32

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	1			幼児なので十分だと思う。	今後もお子様が安全に楽しく運動に取り組みできるように環境を整えてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30			2	限られたスペースではあるが、視覚的にも工夫され、こどもが迷うことなく情報を処理できるように配慮されています。	嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、安全面を考慮しながら、お子様が活動に取り組みやすい環境を整え日々の支援に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32				無回答1	引き続き、清掃と消毒の徹底を行い、気持ち良く過ごせる教室環境を整えてまいります。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32				面談の際しっかりとこちらの話を聞いて下さり、信頼できるなと感じました。	嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様や保護者様からのお伺いしたご要望を職員全員で共有し、お子様が様々な成功体験を積み重ねていけるように、支援をしてまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	1		2	・工夫されていると思いますが、毎週見れていない(母の都合で)ので分からないにしておきました。 ・イベントもたくさんあるので、毎回楽しみにしている。	活動プログラムに関して何かご不明点がございましたら、いつでも職員にお声掛けくださいませ。今後も季節行事などイベントを開催してまいります。楽しみにさせてください。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5	4	16	・お願いしていない状況 ・機会があればうれしいです。利用し始めたところなので分からないにしました。 ・なくて良いと思います。 ・集団での療育なので、必要性を感じない。	現在、交流の機会を設けてはおりませんが、必要に応じて検討させていただきます。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32						
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32						
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	5	3	9	まだ入所したばかりのため	ペアレントトレーニングとしては行っておりませんが、フィードバックの際に保護者様からのご意見やご質問に対し、アドバイスという形でお話をさせていただいております。また、ご希望に応じて、ご家族で参加できる研修会などの情報提供を行っております。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	1			<p>自宅で実施している対応方法を支援事業所でも取り入れてくれる。統一された支援になるため、子どもが混乱しなくて助かる。</p>	<p>嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お子様が混乱することなく落ち着いて活動に取り組んでいけるように、ご自宅や保育園、幼稚園等と同様の対応方法を事業所でも行ってまいります。そのためにも、様々お子様のご様子を伺いさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27			5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所して日が浅いため</li> <li>・まだ入所したばかりのため</li> </ul>	<p>毎回のフィードバックの際に保護者様の思いを聴くことを大切にしており、アドバイスを行えるようにしております。一人で判断しかねる場合は、職員全員で話し合いを行い、保護者様に返答できるようにしております。</p>	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31				1		<p>お子様や保護者様のお気持ちを伺いしながら、お子様が楽しく活動出来、保護者様が安心して送りだせるように、職員全員で支援プログラムを作成しております。</p>
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	9	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所して日が浅いため</li> <li>・まだ入所したばかりのため</li> <li>・機会は提供されているが参加出来ない機会があればうれしいです。利用し始めたところなので分からないにしました。</li> </ul>	<p>父母の会等の開催は行っていません。もし、ご希望があるようでしたら、個別で情報交換の連携のご案内をさせていただきます。</p>	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の頃、行き渋りがあったがことを報告。原因の究明や今後の声掛けの内容などきめ細かく対応いただいた。</li> <li>・いつも迅速に対応していただけているので大変助かる。</li> </ul>	<p>嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、保護者の皆様からのご相談をすぐにお伺い出来るように体制を整えてまいります。</p>
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1					<p>お子様の活動への取り組みの様子や、今後の支援に関してなど、保護者様に共有させていただきます。疑問点などございましたら、いつでも職員にお声掛けくださいませ。</p>
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	4			3	<p>無回答1 ・当方が閲覧していないため。</p>	<p>活動内容の紹介は当事業所のInstagramにて公開しております。また季節行事につきましては、事前にポスターやお手紙等で周知させていただいております。自己評価につきましては会社のHPにて公開しております。</p>
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1					<p>個人情報に関しましては、契約時に説明させていただいておりますように、取り扱いには十分注意しております。具体的は鍵付きの書庫にて保管し処分する際にはシュレッダーで処分しております。</p>	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2			1		<p>マニュアルに関しましては契約時に一通りご説明させていただいておりますが、情報量が多いため、必要に応じて保護者の皆様に改めて説明させていただいております。</p>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30				2		<p>当事業所では火事と地震の避難訓練を行っております。避難訓練の開催期間間につきましては事前にLINEやお手紙で周知させていただいております。また、契約時に避難場所についても説明をさせていただいております。</p>
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31				1		<p>お子様が安全に活動出来るように、安全計画を作成し研修や訓練を行っております。また契約時に説明させていただいておりますが、ご不明な点がございましたら職員にお声掛けくださいませ。</p>
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1			1		<p>契約時に説明をさせていただいておりますように、事故等が発生しましたら、保護者様への即時連絡は勿論のこと、自治体へ連絡等しかるべき措置を取らせていただきます。</p>
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32					<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい先生たちのもと、子どもの緊張もとけ親しみ、安心感をもって通わせていただいております。</li> </ul>	<p>嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様が安心して通所いただけるように、信頼関係を構築していきけるように尽力してまいります。</p>	

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通い始めのころは行き渋りがあったが帰宅後は必ず「楽しかった」と発言。現在は通所日を楽しみにするようになりました。ありがとうございます。</li> <li>・ 机上の活動やゲームも少人数の中での遊びなので安心感をもって参加できるようで、楽しみにするようになりました。</li> <li>・ 一度も嫌がることなく、毎回行くことを楽しみにしているようです。</li> <li>・ 何よりも楽しみにしている。</li> <li>・ 基本的に面倒くさがりだったり、運動に苦手意識があるので、行き渋ることもあるが行けば楽しんでいる様子。</li> </ul>	<p>嬉しいご意見、また率直なご意見ありがとうございます。</p> <p>お子様に「楽しかった」「また行きたい」と思っていたけるように、活動プログラムの作成また環境設定をしてみたいります。</p> <p>もし、お子様が通所に関して消極的なご様子がありましたら、事業所にご連絡いただければと思います。お子様が楽しく通所出来るように、状況の確認や活動プログラムの見直しなど行ってまいります。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大変精力的にご対応いただいていると思います。</li> <li>・ 子ども一人一人に合わせた支援をして下さり、フィードバックの場や面談もあるので、子どもの様子もわかり、こちらも信頼をもって通わせていただいております。いつもありがとうございます。</li> <li>・ ここを見て指導してほしいという部分を長期的にサポートして頂けていると思います。</li> <li>・ 大変満足。</li> <li>・ クール編成があり慌たしくなったが、個人への配慮があり良かった。</li> </ul>	<p>嬉しいご意見ありがとうございます。</p> <p>これからも、保護者の皆様そしてお子様に楽しく通所していただける事業所を目指し、より一層支援内容の向上に努めてまいります。</p> <p>不安な点や気になったことがありましたら、いつでも事業所にご連絡くださいませ。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAUKMI武蔵小杉					公表日	令和 7年 2月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	法令遵守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。 クールの入れ替え時には待機場所を視覚的に分かりやすいように設け、こどもの動線を確保することで安全面に配慮している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法律上の配置数は満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	当事業所のトイレは大人用のため、年齢やこどもの状態によっては職員が介助するなど安全面に配慮している。また、更衣室も狭いためトイレと同様に職員が介助するなど安全面に配慮している。 道具の使い方や手洗いうがいなど、ポスターや手順表を掲示し視覚的に分かりやすい環境設定を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の掃除と消毒を徹底している。また、道具の不備の有無に関しても毎日確認をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別に対応出来るように環境設定している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		個別支援計画に基づき、毎日朝礼と終礼を行い、こどもの状況の共有及び療育内容についての振り返りを行い、次の支援に繋げている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向けのアンケートを年末年始に実施している。また、日々の療育後の保護者へのフィードバック時に保護者からいただいた意見を職員全員で共有し、特に改善が必要なものに関しては早急に話し合いを行い対応をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の朝礼や終礼の際に、療育内容で気になったことを職員同士で共有し、状況の把握、改善に向けての話し合いを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		現在、第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	外部研修に参加したり、定期的に行われる社内研修に参加している。その際に他教室の知識を共有し職員のスキル向上やサービスの質の向上に繋げている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援計画に基づいて支援プログラムを作成することはもちろんのこと、日々のこどもの様子や保護者へのフィードバックの際にいただいた保護者からの意見などを支援プログラムに反映している。 保護者が実際の支援の様子を見学出来る機会も設けている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		児発管と職員全員で、こどもと保護者からのニーズと日々のこどもの様子とを鑑みながら支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援計画を作成する際には必ず、児発管と職員全員で日々のこどもの様子や保護者からいただいたご要望などを確認し、支援計画を作成している。		

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画を職員全員で確認した上で、日々の支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		定期的に情緒面や運動面のアセスメントシートを作成し、こどもの適応行動の状況の把握をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		発達支援に重点を置き、自立支援、運動、感覚統合、他者との関わりなどを目的とした上で、環境設定を行い、創作と運動プログラムを設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムは複数の指導員が担当している。ミーティング時にこども直近の様子を指導員全員で話し合いながら、個別支援計画に基づき、プログラムを作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		こどもの様子やこどもと保護者からのニーズから内容を考え、提供している。毎回、反省を重ねより課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		契約時に個別活動と集団活動のどちらが適正かを検討しクラス編成を行っている。また、成長度合いや個々の目標に沿って、クラス変更を児発管、指導員、保護者そして児童にヒヤリングすることもある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前には必ず朝礼を行い、支援内容や役割分担を確認している。その上で職員が連携を取りながら支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後には必ず終礼を行い、こどもの様子や支援内容の振り返りを行っている。気になった点があれば必ず職員全員で話し合い、改善すべき点を確認し次回の支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援の記録は必ずとっており、支援内容の検証を行い改善が必要であれば早急に職員全員で話し合いを行っている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。		
関係機関や保護者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	機会があればこどもの状況をよく理解しているものが参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	関係機関と連携が取れるように体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	保護者からの希望や状況によって対応している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	保護者からの希望や状況によって対応している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

連携	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	必要に応じて対応をしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	現段階ではそういった機会はないが、当事業所の活動概要等を地域の方や地域の教育機関などに知ってもらうための説明会を定期的に行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎回支援終了後に保護者に児童の活動についてのフィードバックを行うとともに、家庭での様子や学校の様子などを伺い、児童の様子や課題などの確認し合っている。また、常時保護者や児童からの意見や要望に応じれる体制を整えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	保護者からの希望や状況に応じて、情報提供を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に運営規定や利用者負担について説明を一通り行っている。支援の内容については契約時の時だけでなく、様々な場面で詳しく説明をしている。また、質問があればすぐに返答できるようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画作成時には必ずこどもと保護者の意向を確認する機会を設けている。そこで確認した内容を支援計画に反映させるとともに職員全員に共有している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		必ず保護者に個別支援計画を提示しながら説明を行い、同意を得てから支援を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		半年以内に個別支援計画の面談を行う際に子育ての悩み等も含め話を聴いたり、日々のフィードバック時に保護者からの悩み等を聴いている。状況によっては支援計画の面談とは別に面談の提案し、話を聴く機会を設けている。職員全員でその内容を共有した上で、保護者へ助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	必要に応じて対応をしている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談の申し入れがあった場合は、すぐに日程の調整を行い、話しを聴く機会を設けるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	ポスターや手紙などで教室単位で行う行事等の情報を発信している。また会社としてもSNSを通じて活動概要等の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いには十分な注意を払っており、鍵付きの書庫への保管やシュレッダー処理をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚的に情報を捉えやすいように文字に起こして説明をしたり、絵カードを使用するなど、個々の特性や障害に合わせた配慮をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	当事業所の活動概要等を地域の方や地域の教育機関などに知ってもらうための説明会を定期的に行っている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		保護者には契約時に説明をするようにしている。また、職員は定期的にマニュアルの確認を行っている。避難訓練は年2回定期的に行っている。	

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		避難訓練を年2回定期的に行い、災害発生時の対応を確認している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に保護者からこどもの状況を聞き確認している。契約後に服薬の変更や後天的にてんかんを発症した場合は、その都度保護者から状況を確認し、事業所としての対応についても確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時に食物アレルギーについて、詳しく保護者に聞き取りを行い、職員全員が確認している。またイベントなどでお菓子など配る際には保護者への周知並びに説明を徹底している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。また、毎日運動器具を始め、運動スペースの緩衝材や柵の不具合がないかを確認している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者には契約時に説明を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		記録を残し、職員がいつでも確認できるように専用のファイルにて管理している。また、ヒヤリハット事例があった際には職員全員で話し合い、繰り返さないために対策を話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年2回、虐待防止の研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		マニュアルを作成し、方法も組織的に決定している。保護者には契約時に書面にて説明を行い、了承を得ている。また個別支援計画書にも記載をしている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI武蔵小杉		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2024年 11月 10日		～ 2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者からのニーズを踏まえた上で、子どもの性格や特性に合わせて支援計画の作成がされている点。	支援計画を作成するにあたり、子どもの日頃の様子や療育中の様子を保護者と共有し合うことを大切にしている。 子どもが楽しく活動する中で成功体験を積めるような支援計画を児発管と職員全員で考えている。	今後も保護者との共有を大切にしながら、子どもの日々変化する状況を鑑みて支援計画を作成していく。
2	子どもの状況について保護者との連携を大切にしている点。	フィードバックの際に療育中の子ども状況の共有だけでなく、学校や家庭での直近の状況を保護者にも確認するなどして常に最新の子ども状況を知れるように意識している。 面談時には、兄弟の状況などもお伺いし、内容によってはアドバイスをお伝えしている。	今後も保護者との連携を大切に、日々成長し変化していく子どもの状況を意識して支援をしていく。 保護者の希望の有無にもよるが、学校との連携も行っていく。
3	子どもが楽しく取り組める活動プログラムの提供を行っている点。	逆上がりの蹴り上げの向上という一つの目標達成に向けて、複数の運動方法を提供するなど、一つの目標達成のためでも複数の方法を提供することで、子どもが飽きることなく楽しく取り組める活動プログラムを職員全員で作成している。	他教室や他療育、本などから日々どんな運動があるのか研鑽をしていき、子どもの状況に合わせて、色々な運動を提供出来るようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの様子によって個別対応が必要になった場合、現場の状況的に職員の手が足りない場合がある点。	職員の体調不良による急な欠勤等や個別対応の有無で、小集団の対応が手薄になってしまう。	個別対応は子どもの様子によって必要な場合もあるため、今後子どもが楽しく活動出来るプログラムでありながら、限られた人数で小集団の対応が出来るように、プログラム内容の見直しをしていく。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI武蔵小杉

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 46

回収数 28

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	5	1		・小学生でも満足できるスペースが確保されています。	嬉しいご意見ありがとうございます。 今後もお子様が安全に楽しく運動に取り組めるように環境設定してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1			・先生の人数が少ないと感じるときがあります。 ・とても手厚いと感じています。フォロー体制もしっかり整っています。	嬉しいご意見、また率直なご意見ありがとうございます。 お子様や保護者の皆様が不安を感じずに、安心してご通所いただけるように、環境を整えてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	3			赤・青などははっきりした色を使って子供たちにもわかりやすい環境です。	嬉しいご意見ありがとうございます。 お子様が活動に取り組みやすい環境を整え日々の支援に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28				・外靴を履く時にはシートを使って清潔な空間を保っています。	引き続き、清掃と消毒の徹底、環境設定を行い、気持ち良く過ごせる教室環境を整えてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27			1	・苦手な事を伝えた際に、すぐに活動にとりいれていただき、ありがたいです。 ・先生方は子どもの特性や性格を理解し指導して下さっており、子ども自身もそこに安心感をもって通所しています。 ・本人の特性を細かく見ていただき、特性にあったサポートをしっかりしていただいています。	嬉しいご意見ありがとうございます。 今後もお子様が「出来た」という成功体験を増やしていけるように、お子様の特性や性格、得意なこと苦手なことなど踏まえた上で、職員全員で活動プログラムを作成し、支援してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27			1	・運動療育を公表している、毎週のレッスン内容もそれに合っています。	引き続き、運動を中心とした療育を行ってまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27			1	・保護者では気付かない専門的な視点から課題を伝えていただき、支援計画が作成されています。	嬉しいご意見ありがとうございます。 今後もお子様や保護者様からお伺いしたニーズや課題についてはもちろんのこと、日々のお子様の様子から支援計画を作成してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2		1	・本人の支援だけでなく、しっかりと家族支援をしていただいています。家庭では中々うまくいかない”ほめてのぼず”をレッスンでしていただいて本人の自己肯定感はずごく向上しています。	嬉しいご意見ありがとうございます。 今後もお子様やご家族様にTAKUMIに通所して良かったと思っていただけるように、特性や性格、いただいたニーズを踏まえて支援計画の作成してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1		2	・毎週違うレッスン内容で本人も飽きることなく楽しんでいます。	嬉しいご意見ありがとうございます。 引き続き、お子様が楽しく活動出来るようにプログラムを考えてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	9	11	・必要性を感じていないので、現状のままで問題ありません。	現在、交流に機会は設けておりませんが、必要に応じて検討させていただきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26			2		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26			2	・療育だけでなく小学校や普段の様子もくみ取って支援内容を説明してくれています。	引き続き、学校やご家庭での様子も含め、状況をお伺いしながら、お子様にあった支援計画を作成してまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	5	4	8		

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28				・毎回レッスン後にフィードバックをしてくれるので、共通理解できています。	引き続き、療育後にはフィードバックをさせていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28				・不安なことがあればレッスン後のフィードバック時に伝えてアドバイスをいただいています。	不安なこと、困っていることがございましたら、いつでもご連絡くださいませ。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28				・クラス変更の初回は不安で入室できないことがあります。特性を理解してそっと見守ってくれています。	引き続き、お子様の状況やご様子に合わせて、対応させていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	11	10	・必要性を感じていないので、現状のままで問題ありません。	父母の会等の開催は行っておりません。もし、ご希望があるようでしたら、個別で情報交換の連携のご案内をさせていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27			1	・通所の相談など、すぐに返信していただけます。	引き続き、ご連絡いただきました際には、すぐに対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1		7	・季節のイベントを子どもはとても楽しみにしています。	今後もイベントを実施してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24			2	・年に2回避難訓練が実施されています。	年に2回の避難訓練は今後も継続してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			1	・療育中に転んだり、ぶつけたりと心配ない程度のケガがあってもフィードバックでしっかり説明して下さいます。翌日電話を頂くこともあり、対応はしっかりしています。	今後も、療育中のお子様のご様子について、フィードバック等でお伝えしてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28				・いつもありがとうございます。勝ち負けにこだわらず、運動そのものを楽しめるようになりました。 ・先生方が自分を分かってくれているという安心感を子供自身が持っています。 ・最初は入室を嫌がっていましたが、先生方がとても親身になって下さり、すぐに安心できる環境となりました。	嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様が安心してご通所いただけるように、信頼関係を構築していけるように尽力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	3			・とても楽しんで通っています。 ・楽しく通所しており、長く続けたいと話しています。 ・たくさんほめてくれるので、自己肯定感が上がり、通所を楽しみにしています。	嬉しいご意見ご意見ありがとうございます。今後もお子様に「楽しかった」「また行きたい」と思ってもらえるように、活動プログラムの作成また環境設定をしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28				・大変満足しています。 ・苦手な部分を克服し、得意な部分を伸ばしてくれるので子供のやる気アップにつながりとても満足しています。	嬉しいご意見ありがとうございます。これからも、保護者の皆様そしてお子様楽しく通所していただける事業所を目指し、より一層支援内容の向上に努めてまいります。不安な点や気になったことがありましたら、いつでも事業所にご連絡くださいませ。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI武蔵小杉				公表日	令和 7年 2月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		法令遵守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。 クールの入れ替え時には待機場所を視覚的に分かりやすいように設け、こどもの動線を確保することで安全面に配慮している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法律上の配置数は満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	当事業所のトイレは大人用のため、こどもの意志を尊重しながらも、年齢やこどもの状態によっては職員が介助するなど安全面に配慮している。また、更衣室も狭いためこども様子によっては職員が介助するなど安全面に配慮している。 道具の使い方や手洗いうがいなど、ポスターや手順表を掲示し視覚的に分かりやすい環境設定を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の掃除と消毒を徹底している。また、道具の不備の有無に関しても毎日確認をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別に対応出来るように環境設定している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		個別支援計画に基づき、毎日朝礼と終礼を行い、こどもの状況の共有及び療育内容についての振り返りを行い、次の支援に繋げている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向けのアンケートを年末年始に実施している。また、日々の療育後の保護者へのフィードバック時に保護者からいただいたご意見を職員全員で共有し、特に改善が必要なものに関しては早急に話し合いを行い対応をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の朝礼や終礼の際に、療育内容で気になったことを職員同士で共有し、状況の把握、改善に向けての話し合いを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		現在、第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	外部研修に参加したり、定期的に行われる社内研修に参加している。その際に他教室の知識を共有し職員のスキル向上やサービスの質の向上に繋げている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援計画に基づいて支援プログラムを作成することはもちろんのこと、日々のこどもの様子や保護者へのフィードバックの際にいただいた保護者からの意見などを支援プログラムに反映している。 保護者が実際の支援の様子を見学出来る機会も設けている。		

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		児発管と職員全員で、子どもと保護者からのニーズと日々の子どもの様子とを鑑みながら支援計画を作成している。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援計画を作成する際には、必ず児発管と職員全員で日々の子どもの様子や保護者からいただいたご要望などを確認し、支援計画を作成している。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画を職員全員で確認した上で、日々の支援を行っている。	
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		定期的に情緒面や運動面のアセスメントシートを作成し、子どもの適応行動の状況の把握をしている。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		発達支援に重点を置き、自立支援、運動、感覚統合、他者との関わりなどを目的とした上で、環境設定を行い、創作と運動プログラムを設定している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムは複数の指導員が担当している。ミーティング時に子ども直近の様子を指導員全員で話し合いながら、個別支援計画に基づき、プログラムを作成している。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子どもの様子や子どもと保護者からのニーズから内容を考え、提供している。毎回、反省を重ねより課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考えている。	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		契約時に個別活動と集団活動のどちらが適正かを検討しクラス編成を行っている。また、成長度合いや個々の目標に沿って、クラス変更を児発管、指導員、保護者そして児童にヒヤリングすることもある。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前には必ず朝礼を行い、支援内容や役割分担を確認している。その上で職員が連携を取りながら支援を行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後には必ず終礼を行い、子どもの様子や支援内容の振り返りを行っている。気になった点があれば必ず職員全員で話し合い、改善すべき点を確認し次回の支援に繋げている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援の記録は必ずとっており、支援内容の検証を行い改善が必要であれば早急に職員全員で話し合いを行っている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	基本活動の中の『地域交流の機会』については時間的な制約がある為、行っていない。上記以外の基本活動に関して、様々な形で組み合わせ支援を行っている。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	子ども自身がどのような活動がしたいのか発言出来る場を設けたり、職員がいつでも仲介出来るような環境設定をした上で、子どもたちでどんな活動をしたいか話し合う場を設けるなどしている。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	機会があればこどもの状況をよく理解しているものが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	関係機関と連携が取れるように体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3	当事業所は送迎を行っていない。保護者を介しての情報共有が主となっているが、保護者からの希望と学校側の許可があれば、職員が直接学校との情報共有が出来るよう体制は整えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	必要に応じて対応をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	現在までに放課後等デイサービスを卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行した児童はいないが、資料を提供できる体制は整っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	必要に応じて対応をしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	現段階ではそういった機会はないが、当事業所の活動概要等を地域の方や地域の教育機関などに知ってもらうための説明会を定期的に行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		現在参加したことはないが、今後協議会の内容や勤務体制により、参加を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎回支援終了後に保護者に児童の活動についてのフィードバックを行うとともに、家庭での様子や学校の様子などを伺い、児童の様子や課題などの確認し合っている。また、常時保護者や児童からの意見や要望に応じれる体制を整えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	保護者からの希望や状況に応じて、情報提供を行っている。		
保護	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に運営規定や利用者負担について説明を一通り行っている。支援の内容については契約時の時だけでなく、様々な場面で詳しく説明をしている。また、質問があればすぐに返答できるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画作成時には必ずこどもと保護者の意向を確認する機会を設けている。そこで確認した内容を支援計画に反映させるとともに職員全員に共有している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		必ず保護者に個別支援計画を提示しながら説明を行い、同意を得てから支援を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		半年以内に個別支援計画の面談を行う際に子育ての悩み等も含め話を聴いたり、日々のフィードバック時に保護者からの悩み等を聴いている。状況によっては支援計画の面談とは別に面談の提案し、話を聴く機会を設けている。職員全員でその内容を共有した上で、保護者へ助言を行っている。	

者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	必要に応じて対応をしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		契約時に苦情についての連絡方法を伝えている。苦情になる前に保護者やこどもの様子を察知して事前に対応しているつもりであるが、保護者やこどもから苦情があった場合は、職員全員で話し合い、すぐに対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ポスターや手紙などで教室単位で行う行事等の情報を発信している。また会社としてもSNSを通じて活動概要等の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いには十分な注意を払っており、鍵付きの書庫への保管やシュレッダー処理をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚的に情報を捉えやすいように文字に起こして説明をしたり、絵カードを使用するなど、個々の特性や障害に合わせた配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	当事業所の活動概要等を地域の方や地域の教育機関などに知ってもらうための説明会を定期的に行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		保護者には契約時に説明をするようにしている。また、職員は定期的にマニュアルの確認を行っている。避難訓練は年2回定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		避難訓練を年2回定期的に行い、災害発生時の対応を確認している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に保護者からこどもの状況を聞き確認している。契約後に服薬の変更や後天的にてんかんを発症した場合は、その都度保護者から状況を確認し、事業所としての対応についても確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時に食物アレルギーについて、詳しく保護者に聞き取りを行い、職員全員が確認している。またイベントなどでお菓子など配る際には保護者への周知並びに説明を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。また、毎日運動器具を始め、運動スペースの緩衝材や柵の不具合がないかを確認している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者には契約時に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		記録を残し、職員がいつでも確認できるように専用のファイルにて管理している。また、ヒヤリハット事例があった際には職員全員で話し合い、繰り返さないために対策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年2回、虐待防止の研修を行っている。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	マニュアルを作成し、方法も組織的に決定している。 保護者には契約時に書面にて説明を行い、了承を得ている。また個別支援計画書にも記載をしている。	
--	----	--	---	--	--